

2019年度
短信補足資料
(2020年3月期)

2020年5月12日

不二製油グループ本社株式会社

目 次

1	連結 損益概要(4Q)	…	3 ページ
2	連結 損益概要(4Q累計)	…	4
3	連結 貸借対照表	…	5
4	連結 キャッシュ・フロー	…	5
5	連結 指標	…	6
6	2020年度通期業績予想	…	7
7	設備投資額・減価償却費の推移	…	8
8	配当の推移	…	8

※所在地別実績等の詳細データにつきましては別途IR説明資料をご参照ください

決算期変更について

通期

	国内	海外		
		決算期変更会社	豪州IFS	Blommer
2018年度	2018年4月-2019年3月	2018年1月-12月	期中取得の為、6ヶ月数値取込 (2018年7月-12月)	期末取得の為、BS取込のみ
2019年度 海外15ヶ月	2019年4月-2020年3月	2019年1月-2020年3月	2019年1月-12月	2019年2月-2020年1月
海外12ヶ月(1-12月) 参考値		2019年1月-12月		
海外12ヶ月(4-3月) 参考値		国内と同じ		
2020年度	2020年4月-2021年3月	国内と同じ	2020年1月-12月	2020年2月-2021年1月

第4四半期(4Q)

	国内	海外		
		決算期変更会社	豪州IFS	Blommer
2018年度4Q	2019年1月-2019年3月	2018年10月-12月	決算期変更会社と同じ	期末取得の為、BS取込のみ
2019年度4Q 海外6ヶ月	2020年1月-2020年3月	2019年10月-2020年3月	2019年10月-12月	2019年11月-2020年1月
海外3ヶ月(10-12月) 参考値		2019年10月-12月		
海外3ヶ月(1-3月) 参考値		国内と同じ		

※ 当社グループは、マネジメントサイクルを統一することでグループ一体となった経営を推進するとともに、業績等の経営情報の適時・適切な開示により経営の透明性を更に高めることを目的として、当連結会計年度より決算日を3月31日に変更又は連結決算日に仮決算を行う方法に変更しています。この決算期変更に伴い、当連結会計年度は、当該海外グループ会社については2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヶ月を連結し、連結損益計算書を通して調整しています。
(海外グループ会社のうち買収して間もない豪州IFSおよびBlommerを除く)

当連結会計年度は、決算期変更の移行期となる為、決算説明資料上、当社で調整した数値を参考値として数値の比較を行っています。
対2018年度の比較では、決算期変更会社の2019年度を前年同月(通期 1-12月、4Qは 10-12月 および 1-3月)に調整した数値を使用。
また、対2020年度の比較では、決算期変更会社の2019年度を2020年度と同月数値(通期 4-3月)に調整した数値を使用しています。

- ・ 決算期変更会社 : 決算日を12月31日から3月31日に変更したまたは連結決算日に仮決算を行う方法に変更した海外グループ会社(全27社)
- ・ 豪州IFS : INDUSTRIAL FOOD SERVICES PTY LIMITED
- ・ Blommer : Blommer Chocolate Company およびサブ連結対象会社 8 社

◆ 1. 連結 損益概要(4Q : 日本1-3月、海外グループ会社10-3月)

第4四半期 (日本1-3月3ヶ月、海外グループ会社10-3月6ヶ月)

(単位: 億円)

		下記は参考値*1									
		18年度4Q	19年度4Q	19年度4Q		前年同期比		決算期変更	決算期変更	前年同月 (1-3月) 比	
		日本1-3月 海外10-12月 (3ヶ月)	日本1-3月 海外10-3月 (6ヶ月)	日本1-3月 海外10-12月 (3ヶ月)	増減額	増減率	海外のみ 19年1-3月 (19年度1Q)	海外のみ 20年1-3月 (19年度4Q)	増減額	増減率	
売上高	植物性油脂	256	405	241	▲16	▲6.2%	162	164	+2	+1.4%	
	業務用チョコレート	189	508	434	+246	+130.2%	83	74	▲10	▲11.9%	
	乳化・発酵素材	211	235	191	▲20	▲9.6%	59	44	▲14	▲24.6%	
	大豆加工素材	86	84	80	▲6	▲6.8%	4	4	+0	+1.7%	
	合計	742	1,232	946	+204	+27.5%	309	287	▲22	▲7.1%	
営業利益	植物性油脂	17	39	23	+6	+35.6%	11	16	+5	+43.3%	
	業務用チョコレート	10	26	19	+9	+82.1%	8	7	▲1	▲9.0%	
	乳化・発酵素材	4	8	8	+4	+83.5%	3	▲0	▲3	-	
	大豆加工素材	6	9	8	+2	+34.0%	1	1	+0	+6.2%	
	グループ管理費用	▲12	▲13	▲13	▲1	-	-	-	-	-	
合計	26	70	46	+20	+75.7%	23	24	+2	+6.9%		
営業利益率	3.5%	5.6%	4.8%	+1.3pt	-	7.3%	8.4%	+1.1pt	-		
経常利益	25	72	42	+16	+64.6%						
親会社株主に帰属する四半期純利益	26	43	21	▲4	▲16.5%						

※欧州は、2019年度より「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分割。2018年度は遡及修正済み。

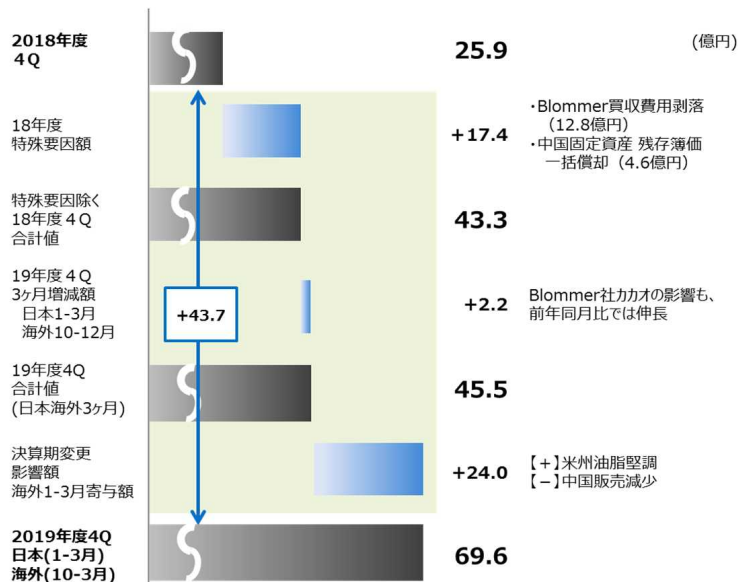
※2019年度は海外グループ会社の決算期を12月から3月に変更した為、海外グループ会社の4Qは2019年10月-2020年3月の6ヶ月。
(Blommer、豪州IFSを除く)

*1: ・「19年度4Q 日本1-3月、海外10-12月(3ヶ月)」は海外グループ会社の決算期変更を加味しない場合の4Q参考値。

・「決算期変更海外のみ19年1-3月(19年度1Q)」および「決算期変更海外のみ20年1-3月(19年度4Q)」は、
決算期変更を実施した海外グループ会社の前年同月(1-3月)を比較した数値。

■ 営業利益	
<ポイント>	
海外グループ会社 (Blommer、豪州IFSを除く) の決算期変更に伴い、第4四半期は海外グループ会社6ヶ月間の数値。Blommerのカカオの先物評価損益の影響や、中国事業における新型コロナウイルスの影響による利益の減少があったものの、2018年度第4四半期に計上したBlommerの買収関連費用の剥落、中国の固定資産の残存簿価の一括償却の反動、2019年度での植物性油脂事業や大豆加工素材事業が堅調に推移した。	
<セグメント別>	
植物性油脂	日本、米州にてチョコレート用油脂の販売が堅調に推移した。
業務用チョコレート	前年度の買収関連費用 (13億円) の剥落や、ハラルドでの数量の増加があったが、Blommerのカカオ先物評価損益影響により利益を押し下げた。
乳化・発酵素材	日本では前年度並みに推移、中国では新型コロナウイルスの影響を受けたが、前年度に固定資産の残存簿価を一括償却をした反動があった。
大豆加工素材	機能剤は減少したが、大豆たん白素材が堅調であった。
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益	
営業利益の伸長も、特別損失等計上。	

2019年度4Q 営業利益増減分析



<4Q 業務用チョコレート事業営業利益内訳>

	FY18 Q4	FY19 日本1-3月 海外10-12月	FY19 海外1-3月	要因分析
業務用チョコレート	10.5	19.1	7.3	FY18に買収費用計上 FY19に先物評価計上
日本	16.0	17.4	-	
米州内、先物影響	3.4	▲1.2	4.7	
東南アジア	-	▲0.5	-	
中国	3.2	1.8	2.2	
欧州	▲1.0	0.7	▲0.3	
連結調整	1.6	0.4	0.7	
	▲12.7	0.2	-	Blommer買収費用剥落

◆2. 2019年度連結 損益概要 (4Q累計)

2019年度業績

(単位：億円)

		18年度		19年度		前年同期比	
			海外 15ヶ月	19年度 海外 12ヶ月 (1-12月)	増減額	増減率	
売上高	植物性油脂	1,061	1,141	977	▲85	▲8.0%	
	業務用チョコレート	721	1,801	1,727	+1,006	+139.6%	
	乳化・発酵素材	865	852	808	▲57	▲6.6%	
	大豆加工素材	361	354	349	▲12	▲3.3%	
	合計	3,008	4,147	3,861	+852	+28.3%	
営業利益	植物性油脂	78	112	96	+18	+22.9%	
	業務用チョコレート	78	83	76	▲2	▲2.1%	
	乳化・発酵素材	33	41	41	+7	+22.2%	
	大豆加工素材	33	40	39	+6	+19.3%	
	グループ管理費用	▲37	▲40	▲40	▲3	-	
合計	185	236	212	+27	+14.4%		
営業利益率	6.2%	5.7%	5.5%	▲0.7pt	-		
経常利益	182	224	193	+11	+6.1%		
親会社株主に帰属する当期純利益	116	164	142	+26	+22.3%		
EBITDA	300	408	370	+70	+23.4%		
ROE	7.3%	10.5%	-	-	-		
営業キャッシュフロー	226	371	-	-	-		
投資キャッシュフロー	▲791	▲183	-	-	-		
フリーキャッシュフロー	▲565	188	-	-	-		
NET有利子負債	1,392	1,276	-	-	-		
NET運転資本	171	632	-	-	-		
NET有利子負債/EBITDA	4.6倍	3.1倍	-	-	-		
CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)	151日	113日	-	-	-		

下記は参考値

■営業利益

<ポイント>

19年度は海外事業の決算期変更を実施、海外は15ヶ月決算。業務用チョコレート事業はBlommerのカカオの先物評価損益の影響により利益が押し下げられたが、植物性油脂事業、乳化・発酵素材事業、大豆加工素材事業は堅調であった。

<セグメント別>

植物性油脂

日本、米州にてチョコレート用油脂(CBE)の販売が堅調に推移したことや、原料相場の安定推移により採算が改善した。

業務用チョコレート

欧州、日本は堅調も、Blommerの先物評価損益影響や修繕費の増加、販売量減少などがあった。

乳化・発酵素材

日本は収益性改善も、東南アジアの下振れ、中国における新型コロナウイルスの影響が見られた。

大豆加工素材

日本において、機能剤は減少したが、大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売が堅調。

■親会社株主に帰属する当期純利益

国内事業の堅調な推移および海外グループ会社の決算期統一による取込増加に加え、前期の中国関連事業での固定資産減損損失および米国子会社取得関連費用の反動等により増益

■CCC

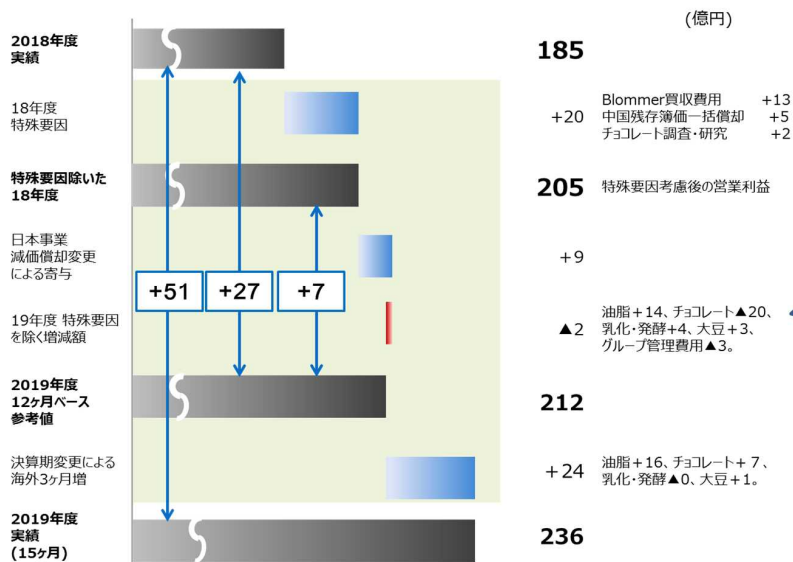
2019年度は、Blommerの影響除けば104日。

※欧州は、2019年度より「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分割。2018年度は遡及修正済み。

*2019年度は海外グループ会社を12月決算から3月決算に変更したことにより、15ヶ月 (Blommer、豪州IFSを除く)

*「19年度海外12ヶ月」は、海外グループ会社を1-12月の12ヶ月として算出した参考値。(日本19年4-20年3月、海外19年1-12月)

2019年度 営業利益増減分析



<FY19 業務用チョコレート事業営業利益内訳>

累計	FY18	FY19 日本12ヶ月 海外12ヶ月	FY19 日本12ヶ月 海外15ヶ月	要因分析
業務用チョコレート	77.6	75.9	83.2	
日本	64.5	69.7	69.7	菓子向けが堅調に推移
米州	13.6	▲8.2	▲3.5	
-Blommer、ハラルド				Blommerは高付加価値品が伸長も先物影響が発生。ハラルドは3Q以降販売数量堅調に推移。
先物評価損	-	▲20.0	▲20.0	
東南アジア	9.6	8.8	11.0	
中国	▲0.3	1.4	1.1	
欧州	3.2	4.0	4.7	販売堅調
連結調整	▲13.1	0.2	0.2	FY18買収費用計上

◆3. 連結 貸借対照表

(単位：億円)

	18年度 期末*	19年度 期末	前期末比	主な増減要因
流動資産	1,854	1,687	▲168	原材料及び貯蔵品の減少、受取手形・売掛金の減少
固定資産	2,051	1,985	▲66	のれんの減少、投資有価証券の減少
繰延資産	-	2	+2	
資産合計	3,905	3,674	▲232	
有利子負債	1,605	1,462	▲142	短期借入金の減少
その他負債	708	631	▲77	仕入債務の減少
負債合計	2,313	2,094	▲219	
純資産合計	1,592	1,580	▲12	為替換算調整勘定の悪化

* 2019年度連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年度期末は遡及修正済み。

◆4. 連結 キャッシュ・フロー

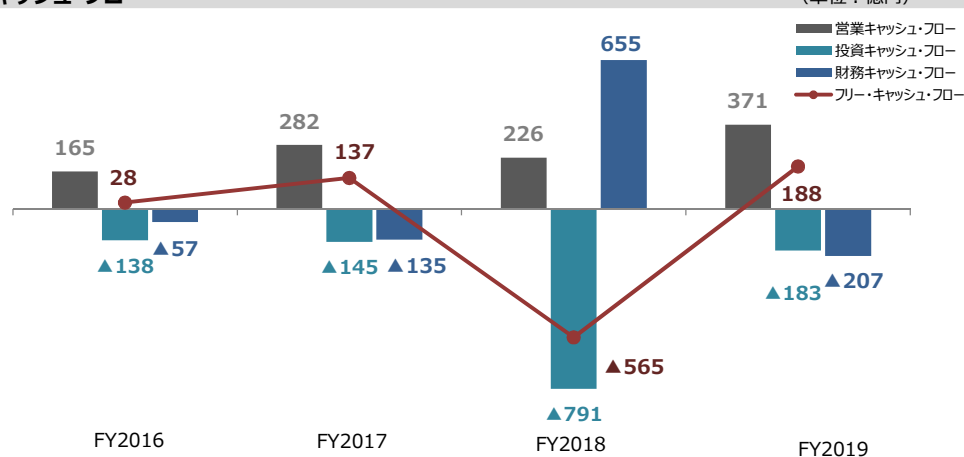
(単位：億円)

	18年度	19年度	前期比	主な増減要因
税金等調整前当期純利益	165	233	+67	
減価償却費	120	155	+35	
のれん償却費	7	24	+17	
他増減	▲66	▲42	+24	
営業キャッシュ・フロー	226	371	+144	
投資キャッシュ・フロー	▲791	▲183	+608	18年度 Blommer取得
フリー・キャッシュ・フロー	▲565	188	+752	
借入金等による調達・返済	754	▲142	▲896	短期借入金の返済
配当金支払等その他	▲99	▲65	+34	
財務キャッシュ・フロー	655	▲207	▲862	
現金及び現金同等物増減額	82	▲26	▲108	
現金及び現金同等物残高	212	186	▲26	

(注) 減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

連結キャッシュ・フロー

(単位：億円)



◆5. 連結指標

(単位：億円)

	17年度 実績	18年度 実績	19年度 実績(*2)	20年度 予想
EBITDA	310	300	408	374
設備投資額	147	159	180	230
減価償却費	100	110	130	128
有利子負債	566	1,605	1,462	1,402
NET有利子負債	436	1,392	1,276	1,190
NET運転資本	633	171	632	563
NET有利子負債/EBITDA	1.4	4.6	3.1	3.2
1株当たり純資産	1,864円	1,820円	1,809円	1,884円
自己資本比率	59.2%	40.1%	42.3%	44.3%
D/ELシオ	0.35	1.03	0.94	0.87
Net D/ELシオ	0.27	0.89	0.82	0.73
営業キャッシュフロー	282	226	371	337
フリーキャッシュフロー	137	▲565	188	164
ROE	8.8%	7.3%	10.5%	7.2%
ROA	7.4%	5.5%	6.0%	4.9%
売上高営業利益率	6.7%	6.2%	5.7%	5.2%
CCC	103日	105日(*1)	113日(*3)	104日

(注) ・減価償却費は有形固定資産の減価償却費を、純資産は非支配株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/ELシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本 ・Net D/ELシオ = Net有利子負債 (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本

・ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本 (期首と期末の平均値)

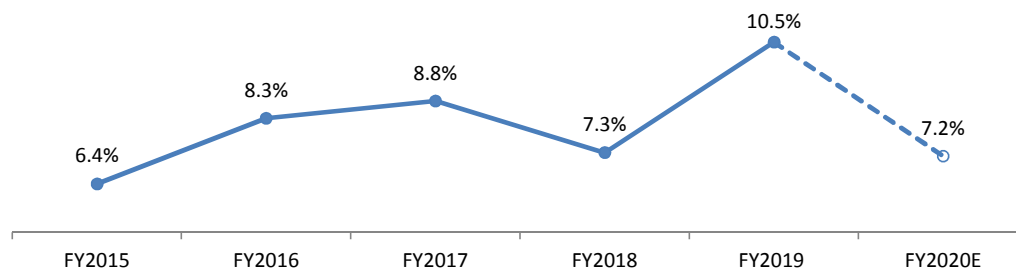
・ROA = 経常利益 ÷ 総資産 (期首と期末の平均値)

(*1) 2018年度のCCCはBlommerを除く。

(*2) Blommer、蒙州IFSを除く海外グループ会社の決算期変更(12月→3月)に伴う15ヶ月決算を反映。

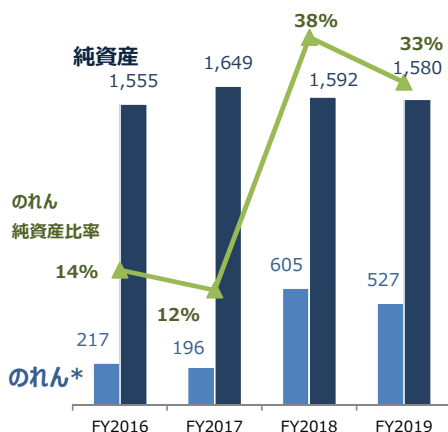
(*3) 15ヶ月決算を適用した海外グループ会社については12ヶ月換算し算出

ROE



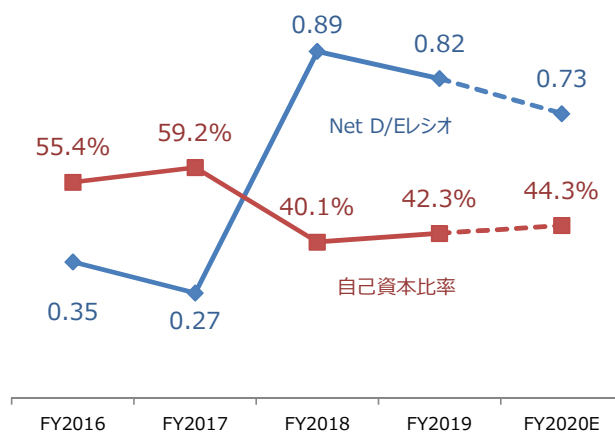
のれん純資産比率

(単位：億円)



*のれんは広義ののれんを使用

Net D/ELシオ 自己資本比率



◆6. 2020年度通期業績予想

2020年度通期業績予想

(単位：億円)

	19年度 実績 海外15ヶ月	19年度 19年4月- 20年3月 (12ヶ月)※	20年度 予想	参考 前年同期 (4~3月)比	
				増減額	増減率
売上高	植物性油脂	1,141	979	921	▲58 ▲5.9%
	業務用チョコレート	1,801	1,717	1,670	▲47 ▲2.8%
	乳化・発酵素材	852	793	789	▲4 ▲0.6%
	大豆加工素材	354	347	320	▲27 ▲7.8%
	合計	4,147	3,837	3,700	▲137 ▲3.6%
営業利益	植物性油脂	112	101	84	▲17 ▲16.6%
	業務用チョコレート	83	75	85	+9 +12.2%
	乳化・発酵素材	41	38	34	▲4 ▲11.2%
	大豆加工素材	40	39	35	▲4 ▲10.8%
	グループ管理費用	▲40	▲39	▲45	▲5 —
合計	236	215	193	▲22 ▲10.1%	
営業利益率	5.7%	5.6%	5.2%	▲0.3pt	—
経常利益	224	203	178	▲25 ▲12.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益	164	147	115	▲32 ▲21.7%	

■営業利益

<ポイント>

2020年度は、業務用チョコレート事業での、Blommerの利益回復を主とした伸張を見込んでいたものの、上期における新型コロナウイルスの影響(▲39億円)を考慮し、対前年減益計画。

<セグメント別>

植物性油脂

原材料相場の上昇による採算性の低下に加え、新型コロナウイルスによる販売の減少の影響(▲4億円)などにより減益計画。

業務用チョコレート

新型コロナウイルスの影響(▲25億円)は見込むものの、Blommerのカカオの先物評価損益の抑制、また下期での販売の伸長により増益計画。

乳化・発酵素材

中国は前年並みを見込むが、新型コロナウイルスの影響(▲6億円)、日本、東南アジアでの販売減により減益計画。

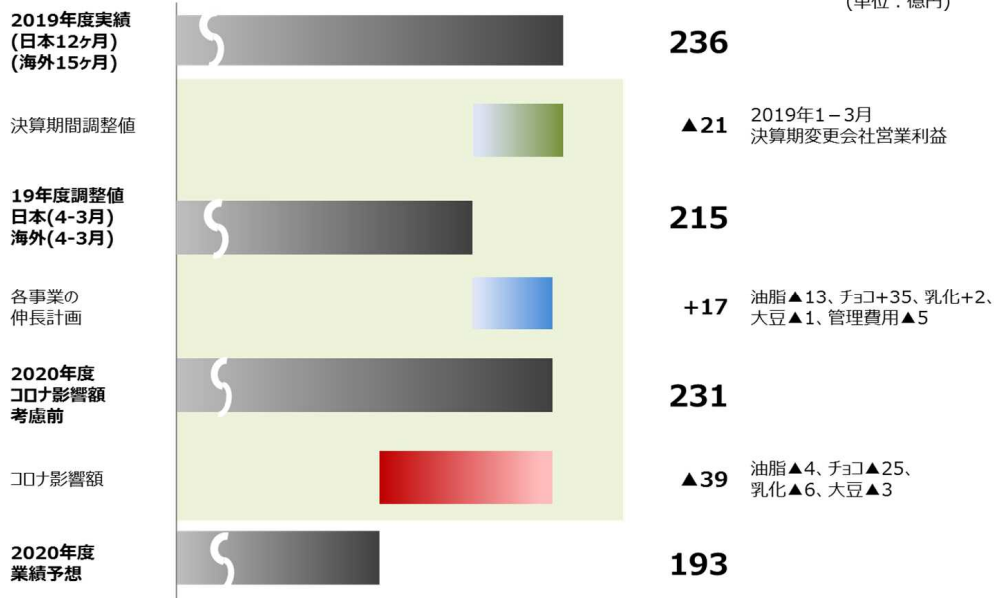
大豆加工素材

新型コロナウイルスの影響は▲3億円を見込む。欧州の新工場の費用が先行。

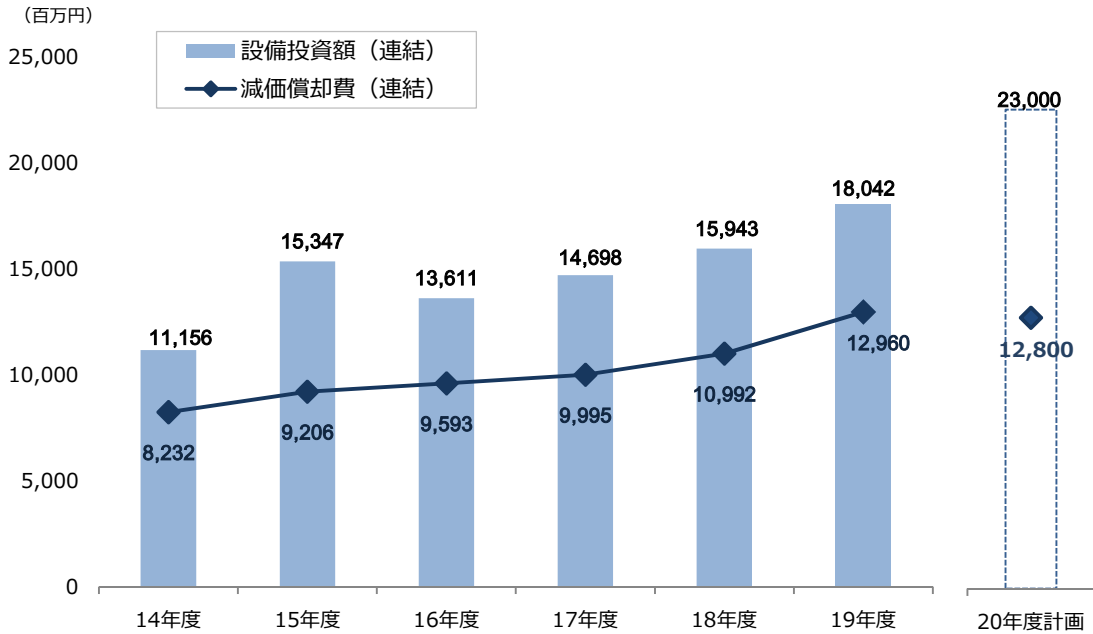
※19年度 19年4月-20年3月(12ヶ月)は、海外グループ会社（Blommer、豪州IFSを除く）の2019年度決算期を2019年4月 - 2020年3月とした場合の数値。

2020年度営業利益増減分析

(単位：億円)



◆7. 設備投資額・減価償却費の推移



2019年度実績(海外15ヶ月)

設備投資 180億円

<主な投資内容>

- ・北米 油脂 新拠点設立 32億円
- ・Blommer 設備投資 15億円
- ・日本 粒状大豆たん白工場 9億円

減価償却費 130億円

2020年度計画

設備投資 230億円

<主な投資内容>

- ・北米 油脂 新拠点設立 36億円
- ・Blommer 設備投資 34億円

減価償却費 128億円

◆8. 配当の推移

